

# 2012 年 8 月の東北地方の天候

## 【 8 月の特徴 】

○気温は高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった

### (1) 2012 年 8 月の概況

この期間、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温は高かった。特に月の後半は晴れて暑い日が続いた。13 日から 14 日にかけて東北日本海側を中心に大雨となったほか、局地的に大雨となった日があったがまとまった雨はなく、降水量は東北太平洋側を中心にかなり少なかった。月降水量平年比は東北太平洋側で 23% とかなり少なくなり、1946 年の地域平均の統計開始以来、少ない方からの 1 位の値を更新した。また、月間日照時間は白河で 8 月の多い方からの 1 位の値を、小名浜で通年の多い方からの 1 位を更新した。

月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。月降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

### (2) 各旬の天候経過

**上旬：**この期間、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、東北太平洋側の北部では湿った東よりの風や日本の東に停滞した気圧の谷の影響を受けて曇りの日が多かった。気温は、期間の前半は平年より高く、期間の後半は平年より低かった。

期間の後半は上空に寒気が入り大気の状態が不安定となって、6 日は東北北部を中心に大雨となり、7 日から 10 日にかけては局地的に大雨となった。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。

**中旬：**期間の中頃までは気圧の谷や前線が次々と通過し、変わりやすい天気となった。期間の終わりは太平洋高気圧におおわれて晴れて、気温は高くなった。16 日には、白河で日最高気温 35.5℃を観測し、8 月の日最高気温の高い方からの極値を更新した。

13 日から 14 日にかけては日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、東北日本海側を中心に大雨となった。また、12 日と 16 日から 20 日にかけては大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となった。

平均気温は高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

**下旬：**この期間、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が続き、気温はかなり高かった。

23 日から 25 日にかけてと 30 日は大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となった。

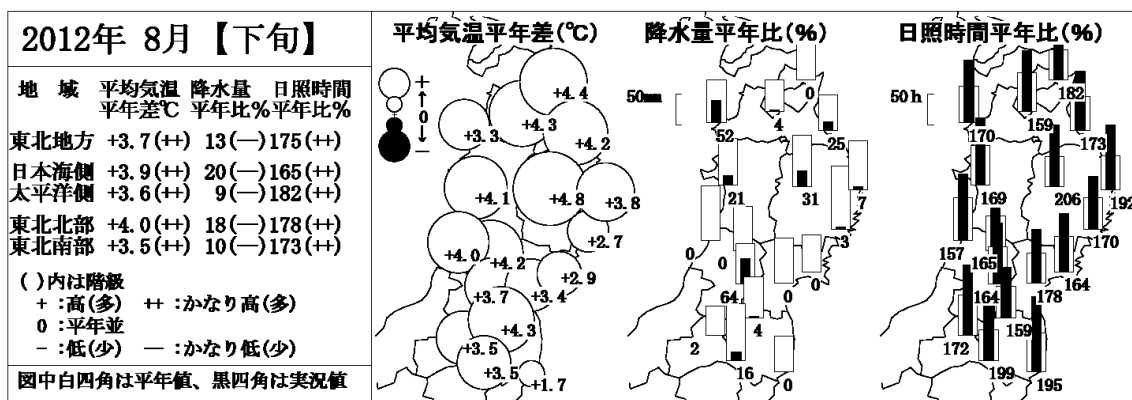
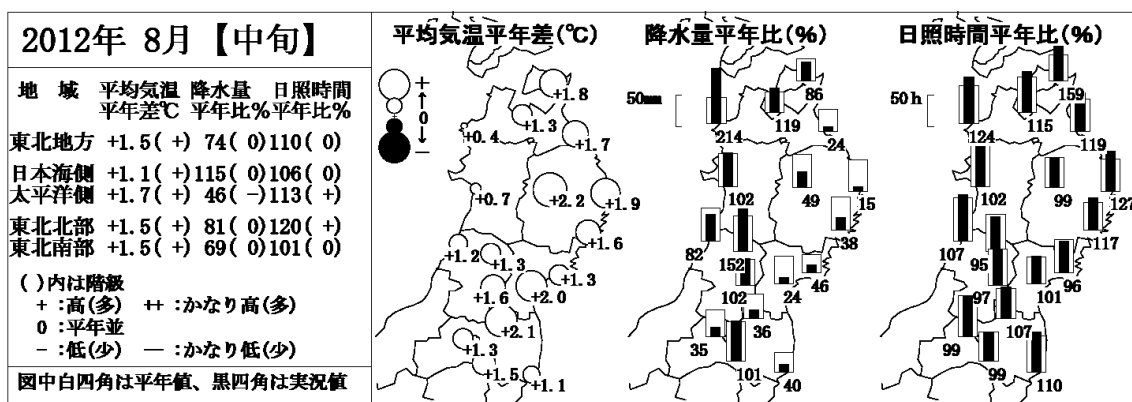
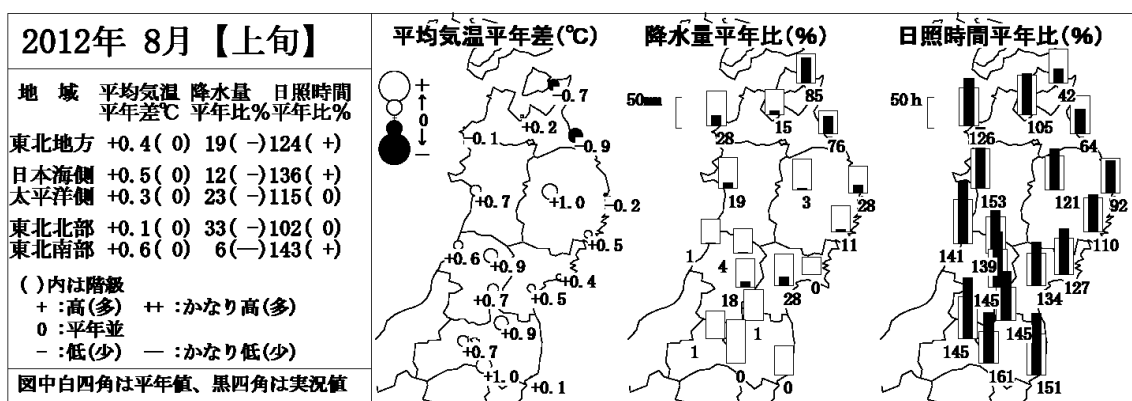
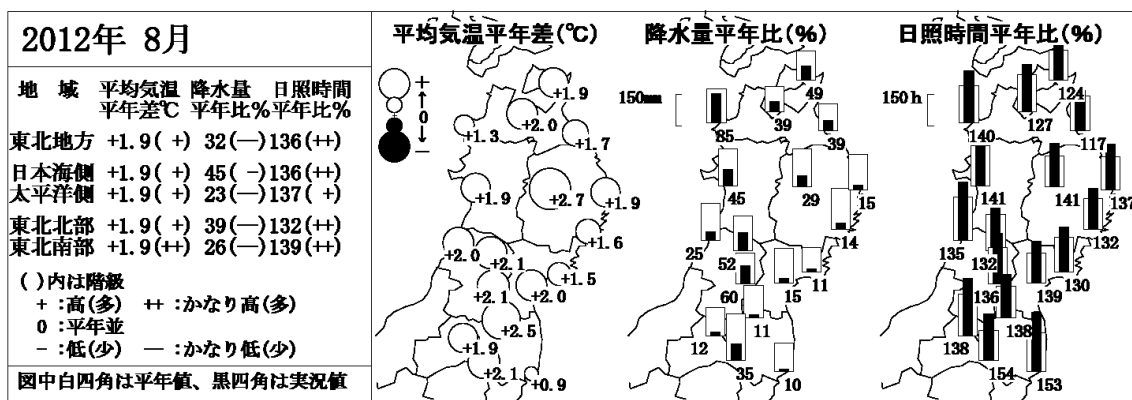
平均気温はかなり高い。降水量はかなり少ない。日照時間はかなり多い。

(注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。  
細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は 1981～2010 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

---

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2012年8月の月・旬平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比



平年値の統計期間は1981～2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 2012 年 8 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	25.3	( +2.0)	+	47.5	( 39)	—*	5	228.2	( 127)	+*
深 浦	24.5	( +1.3)	+	140.5	( 85)	○	4	250.9	( 140)	+*
む つ	23.6	( +1.9)	+	70.0	( 49)	—	5	178.7	( 124)	+
八 戸	24.2	( +1.7)	+	50.0	( 39)	—	6	195.1	( 117)	+
秋 田	26.8	( +1.9)	+	79.0	( 45)	—*	6	272.7	( 141)	+*
盛 岡	26.1	( +2.7)	+*	52.5	( 29)	—*	5	210.1	( 141)	+*
大 船 渡	24.6	( +1.6)	+	28.0	( 14)	—*	7	196.3	( 132)	+
宮 古	24.1	( +1.9)	+	25.0	( 15)	—*	4	219.9	( 137)	+*
仙 台	26.2	( +2.0)	+*	24.5	( 15)	—*	5	200.2	( 139)	+
石 巻	25.0	( +1.5)	+	13.0	( 11)	—*	3	216.9	( 130)	+
山 形	27.0	( +2.1)	+*	91.0	( 60)	—	8	242.7	( 136)	+*
新 庄	26.2	( +2.1)	+*	87.5	( 52)	—	4	227.9	( 132)	+*
酒 田	27.3	( +2.0)	+	44.0	( 25)	—*	3	280.5	( 135)	+*
福 島	27.9	( +2.5)	+*	17.0	( 11)	—*	5	209.9	( 138)	+
若 松	26.9	( +1.9)	+	16.5	( 12)	—*	6	275.1	( 138)	+*
白 河	25.6	( +2.1)	+*	78.5	( 35)	—	8	223.4	( 154)	+*
小 名 浜	25.1	( +0.9)	+	13.0	( 10)	—*	2	283.2	( 153)	+*

(注) 1. 平年値は 1981～2010 年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い)      ○:平年並      -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めた。

また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10%に相当する場合には階級の「+」に \* を付加した。この場合には

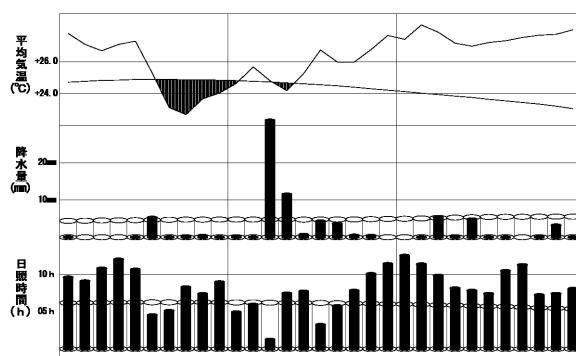
かなり高い(多い)      かなり低い(少ない)

と表現できる。

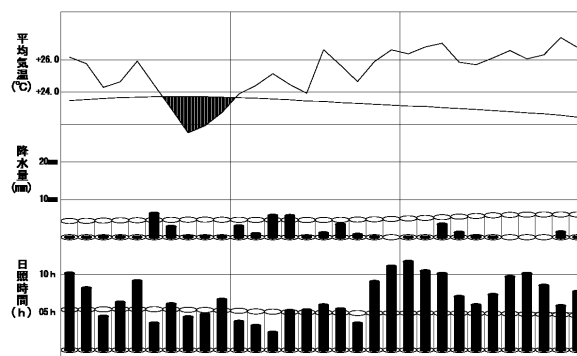
3. 値の横に ) や ] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準正常値)は通常のものと同様に扱うことができるが、]付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

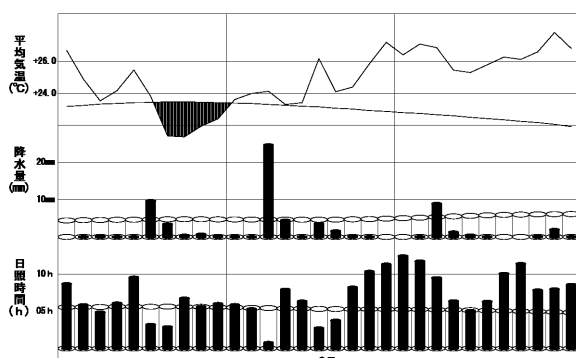
## (5) 2012 年 8 月の日別経過図



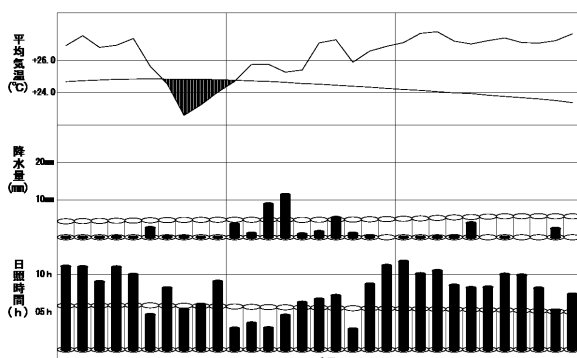
東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図



東北北部の日別経過図



東北南部の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）  
気温の陰影は平年値より低いことを示す。

## (6) 2012 年 8 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
2	盛岡	26.1	+2.7	26.2（2010）	1924	23.4
	福島	27.9 =	+2.5	28.6（2010）	1889	25.4
	白河	25.6	+2.1	25.7（2010）	1940	23.5
3	新庄	26.2	+2.1	26.7（2010）	1958	24.1

月平均気温低い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	若松	16.5	12	9.5 (1984)	1953	134.3
	福島	17.0	11	14.0 (1984)	1889	154.0
3	大船渡	28.0	14	22.0 (1997)	1963	196.5
	仙台	24.5	15	16.5 (1984)	1927	166.9

月間日照時間多い方からの順位更新

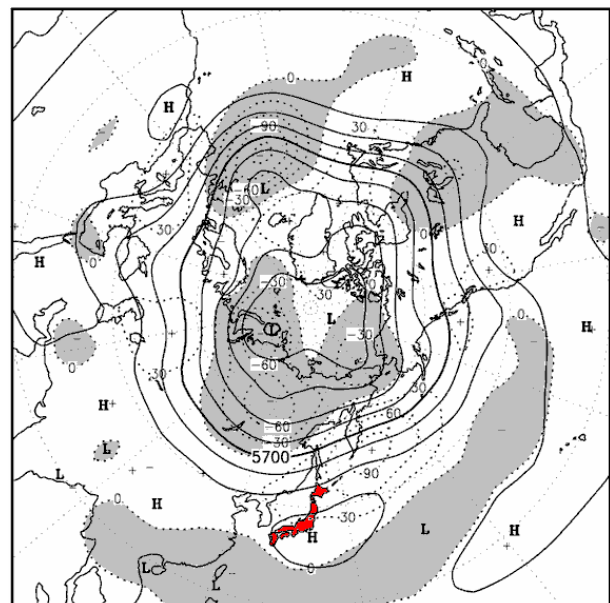
順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	白河	223.4	154	215.5 (1985)	1940	145.3
	小名浜	283.2	153	281.9 (1994)	1910	185.7
2	若松	275.1	138	287.6 (1985)	1953	198.7

月間日照時間少ない方からの順位更新  
3位以内はなし

(7) 2012 年 8 月の循環場の特徴

500hPa 高度は、中国東北区からアリューシヤンの南にかけて帯状に正偏差で、本州付近は太平洋高気圧におおわれた。高緯度帯でジェット気流の蛇行がみられ、北日本に寒気が南下した時期があった。

東北地方は、上旬前半と月の後半は太平洋高気圧におおわれ、晴れて気温の高い日が続いた。中旬に気圧の谷や前線の影響を受け、東北日本海側を中心に大雨となったが、月降水量としては東北日本海側で少なく、東北太平洋側ではかなり少なかった。



2012 年 8 月の平均 500hPa 高度

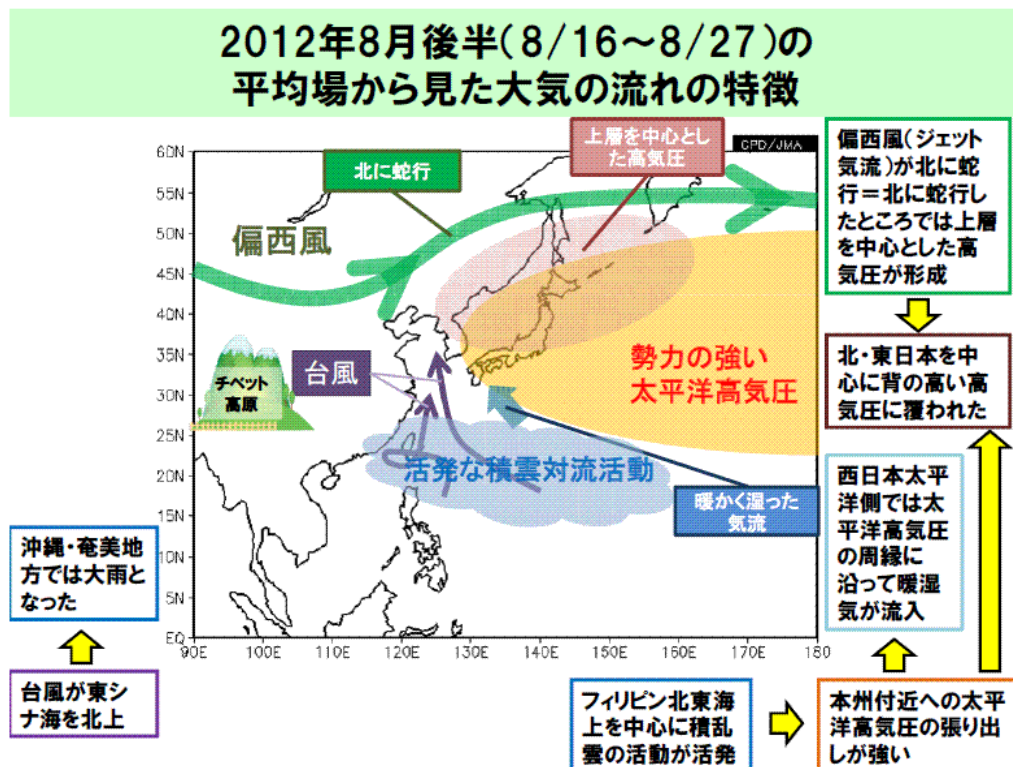
実線は高度 (m)、間隔 60m。点線は偏差 (m)、間隔 30m。陰影部は負偏差 (寒気に対応)。

### （８）2012 年 8 月の少雨と高温をもたらした大気の流れの特徴

東北地方では、8 月は太平洋高気圧におおわれて晴れる日が多くなり、東北太平洋側を中心に降水量の少ない状態が続いた。また、8 月 16 日頃からは、太平洋高気圧におおわれ晴れて残暑の厳しい日が続いた。

8 月 6 日は上空に寒気が入り大気の状態が不安定となって東北北部を中心に大雨となった。また、8 月 13 日から 14 日にかけては日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み東北日本海側を中心に大雨となったが、そのほかは局地的な大雨はあるものの少雨の状態を解消するようなまとまった雨はなかった。

図に 8 月後半、北日本から西日本にかけて太平洋高気圧におおわれ、残暑が厳しくなった時期の大気の流れを示す。太平洋西部の対流活動活発域はフィリピンの北に北上し、本州付近への太平洋高気圧の張り出しが強まった。また、亜熱帯ジェット気流（緑の線）が中国東北区から北に蛇行し北日本に向けてチベット高気圧が張り出した。



社会的に影響の大きい天候に関する東北地方気象情報の発表状況

平成 24 年 8 月 20 日 15 時 00 分 少雨に関する東北地方気象情報 第 1 号

平成 24 年 8 月 24 日 15 時 00 分 少雨と長期間の高温に関する東北地方気象情報 第 2 号